



1 誓いの言葉を述べる加藤さん 2 全生徒で「生命が羽ばたくとき」を合唱 3 杉浦さんが心温まるメッセージソングを披露

桑折町立志式 15歳の節目に自分を見つめる

町立志式・記念講演（町青少年育成町民会議主催）が2月7日、「イコゼー！」で開かれ、醸芳中2年生が出席しました。

立志式は、数え年で15歳の節目に自分を見つめ、社会の一員としての自覚や責任を持つきっかけになるよう実施しています。

式典では、高橋町長が生徒代表の菅野和香奈さんに証書を手渡し

ました。続いて、加藤綺菜（あやな）さんが「明るく拓かれたとき、厳しく険しいとき、どんな未来が待ちうけていようと、皆様から教えていただいたことを力に変えて乗り越えていきます」と力強く誓いの言葉を述べました。

記念講演では、杉浦貴之さんが「マイナスをプラスに変えて、夢を叶えよう」とエールを送りました。

桑折町政策研究会報告会 自治体職員が企画出し合う

昨年5月から活動してきた自治体政策研究会（ふくしま自治研修センター主催）の研究成果報告会が2月3日、「イコゼー！」で開かれました。

桑折町を調査研究のフィールドに「シティプロモーションの推

進」という課題について、県内の自治体職員11人が活動。桑折町ならではの魅力を生かした政策を、約半年間かけて模索してきました。研修生は高橋町長と河井孝仁東海大学教授らの前で発表し、提言書を手渡しました。



▲外の視点からも町を見直し、課題と今後の方針を再認識

福島圏域広域連携セミナー 近隣自治体の連携を考える

人口減少時代の広域連携について福島圏域11市町村で議論するセミナーが1月30日、福島市で開催されました。

第1部では、明治大学政治経済学部の中嶋久二彦教授が講演を行い、自治体の連携推進の必要性を解説。第2部では、パネルディス

カッションが行われ、各首長から、圏域共通課題である医療の充実、地域公共交通などについて連携が必要であると意見が出されました。最後に、福島市長が「公共施設の相互利用ができる体制、環境整備を検討したい」と提言しました。

男女共同参画推進講演会 まさかの時の防災術を学ぶ

男女共同参画推進のための講演会が2月2日、中央公民館女性講座との共催で行われました。

今年度は防災分野での男女共同参画について、（社）あぶくまエヌエネット代表理事の進士徹さんを講師に迎え、「防災に備えるまさかの時の生き残り術」と題して講演いただきました。

有事の際は男性のみ

で組織運営を行うのではなく、女性ならではの視点が重要であることなどを学びました。

また、身近にある新聞紙や空き缶、ブルーシートなどが災害時に非常に役立つ便利グッズとなることや、正しいマスクの使い方などを実演。参加者からは「役立つ情報がかりで、万一の際にぜひ活用したい」などの声が寄せられました。



1 新聞紙を断熱材として使う方法を紹介する進士さん 2 災害で役立つグッズを展示 3 ブルーシートで簡易ベッドを作成

幼稚園・小中学生に制服贈呈 ピカピカの制服に笑顔

町は、令和2年度新入園児および新入学児童生徒へ入園・入学のお祝いとして、町内の幼稚園と小中学校の各制服を贈呈しました。

これは、子どもたちに新たな気持ちで幼稚園や学校の生活を送ってほしいとの思いから、今年で4度目の実

施となります。また、子育て世代の入学時における経済的負担の軽減を図ることも目的としています。

2月21日、醸芳幼稚園で贈呈式が行われ、園児らは「小学校に行ったら勉強を頑張ります」と笑顔で制服を受け取りました。



▲町長より4月から新1年生になる園児たちに制服を贈りました

醸芳幼稚園発表会 かわいらしい演技を披露

醸芳幼稚園の年長組が1月29日、年少・年中組が2月21日、劇やダンス、歌などの発表会を行い、保護者らに披露しました。

劇では、楽器演奏やダンスを交えながら、堂々と大きな声で発表。運動では、これ

までの練習の成果を存分に発揮し、保護者や地域の皆さんにかっこいい姿を見せていました。

観客の多さに少し緊張しながらも、みんなで力を合わせて頑張る姿に、会場からは拍手が送られました。



▶手作りの衣装に身を包み、劇「はらぺこあおむし」を披露